

## 報 告 事 項

<b>人員配置等</b> (令和6年4月1日時点)	事業所名	日中サービス支援型指定共同生活援助にじいろホーム上町
	利用者定員	19人
	開所年月日	令和元年7月1日
	日中の世話人と生活支援員の人数及び平均勤続年数	世話人： 4人(平均勤続年数 3.5 年) 常勤換算 2.5人 生活支援員： 13人(平均勤続年数 1.9 年) 常勤換算 4.5人
	夜間の世話人と生活支援員の人数及び平均勤続年数	世話人： 2人(平均勤続年数 1.9年) 常勤換算 1.2人 生活支援員： 7 人(平均勤続年数 2.6年) 常勤換算 5.8人
<b>利用者の状況</b>	障害者支援区分の内訳(※令和6年4月1日時点)	非該当： 0人 区分1： 0人 区分2： 0人 区分3： 4人 区分4： 6人 区分5： 5人 区分6： 4人
	主な障害種別(それぞれの日中GHで過ごす人の人数)	身体： 4人( 4人) 知的： 5人( 5人) 精神 10人( 11人) 難病等 0人( 0人)
	年齢構成・性別	20歳未満： 人(男： 人・女： 人) 20代： 人(男： 人・女： 人) 30代： 2人(男： 1人・女： 1人)40代： 4人 (男： 1人・女： 3人) 50代： 4人(男： 1人・女： 3人) 60代： 9人(男： 5人・女： 4人)
	医療的ケアの必要な利用者の人数(※令和6年4月1日時点)	0人
	強度行動障害のある利用者の人数(※令和6年4月1日時点)	0人
	令和5年度 新規入所者数と退所者数	入所者： 3人 退所者： 3人
	高知市の支給決定者数と高知市外の支給決定者数(※令和6年4月1日時点)	高知市： 13人 高知市外： 6人
	令和5年度 短期入所の定員数、実利用者数、延べ算定回数	定員数： 1人 実利用人数： 10人 延べ利用人数： 295人
	計画相談支援について	別法人の計画相談による作成： 7人 自法人の計画相談による作成： 12人
		セルフプラン： 0人 ケアプラン： 1人

事業所の特徴	事業所の運営方針	<p>具体的な内容</p> <p>利用者の個別のニーズや要望を尊重し、その人らしい生活をサポートします。利用者とのコミュニケーションを重視し、相互信頼のもとでサービスを提供します。施設内外の安全対策を徹底し、事故や転倒の防止に努めます。適切な衛生管理を行い、感染症対策を実施します。</p>
	事業所として特に大事にしていること	<p>具体的な内容</p> <p>利用者の尊厳とプライバシーの尊重: 利用者の個々のニーズや要望に合わせたサービスを提供し、自己決定権を尊重します。また、プライバシーを保護するための対策を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境を作ります。</p> <p>安全な環境の提供: 事故や感染症の予防対策を徹底し、施設内外の安全を確保します。利用者が安心して生活できるように、衛生管理や安全対策に重点を置きます。</p>
常時の支援体制の確保	日中、夜間、土日を含めた常時の支援体制の確保について	<p>具体的な内容</p> <p>平日の日中帯は建物の2階で生活介護を利用して頂き機能訓練、生活訓練、入浴介助等を提供しています、夜間に関しては3階、4階でグループホームを利用して頂き20時以降は各階1名、夜勤者を配置し対応ができる体制をとっています、土日は生活介護がお休みなので自室や各フロアで過ごされ平日の疲労を癒されております。</p>
支援の質の確保について	職員の資格取得状況	<p>具体的な内容</p> <p>看護師、社会福祉士、介護福祉士等の国家資格を取得した常勤職員が半数以上配属しています、無資格者についても資格取得に努めております。</p>
	令和5年度 職員の質の向上について (内部研修, 外部研修への参加, その他)	<p>具体的な内容</p> <p>感染、虐待、身体拘束廃止の研修を定期的に行い、毎月オンライン研修ですが全職員に福祉に関わる研修を行っております。 外部研修は感染症の関係でオンライン等の研修に参加をしました。</p>
	令和5年度 苦情及びヒヤリハットの件数	<p>苦情件数:       0件       ヒヤリハット:       17件</p>
	苦情やヒヤリハットの対応例	<p>具体的な内容</p> <p>居室内で転倒されていることが8割以上です、以外は擦過傷等の傷を発見したり、介助中の不安定によるフラツキ等の内容です。</p>

	<p>重度化・高齢化等で日中をホーム内で過ごす利用者への支援はどのようにしているのか。</p>	<p>具体的な支援の内容 利用者によって特性が違うので個々にあった対応をしておりますが主に、機能訓練、対人関係、生活支援、栄養管理等に関する向上に向けた支援を行っております。</p>
<p>利用者の主な日中の活動について</p>	<p>外部の日中活動サービス等の利用状況について (他の日中活動サービスの利用を妨げていないか)</p>	<p>外部の日中活動サービスの利用者人数 0名 主な外部の日中活動サービスの種類: 外部の日中活動サービスの利用ニーズを把握しているか 把握している場合今後の対応について</p>
	<p>同一敷地内に設置した通所事業所について (該当する場合のみ記載)</p>	<p>事業所名:生活介護事業所にじいろホーム上町 サービス種別:生活介護 利用定員:20名 事業所での日中活動の具体的内容 機能訓練、生活支援、相談支援、全体レク、個別レク、季節に合わせた行事イベント 日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 利用人数 19名 通所頻度 週に 5日程度</p>
<p>他の事業所との連携</p>	<p>相談支援事業所や外部の障害福祉サービス事業所との連携の状況について</p>	<p>具体的な内容な連携状況の事例を記入 定期的な担当者会の実施と急変、特変等あれば随時関係機関と共有し、担当者会を開催しています。</p>

地域に開かれた運営について	体験的な利用ニーズに対応しているか	<p>昨年度の体験利用人数 10名</p> <p>体験利用の具体的な内容 施設見学や生活介護の体験、短期入所体験で施設の雰囲気を理解して頂き、入居のイメージをして頂いています。</p>
	実習生やボランティアを受け入れているか。	<p>受入人数 0名</p> <p>受入事例</p>
	地域住民やボランティア団体との交流の機会が確保されているか。	<p>具体的な内容 社会福祉協議会を通じて、地域住民の方向けにサロンや移動スーパーの受け入れを予定しています。</p>
短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。☒	<p>年間の利用者数 11名</p> <p>具体的な内容 施設見学、体験や短期入所を通じて対応させていただいております。</p>
	緊急的利用のニーズに対応しているか。	<p>緊急受入人数 3名</p> <p>緊急受入事例 家人の手術期間中の受け入れと、独居生活が困難で入居先が決まるまでの受け入れ。</p>

<p>権利擁護について</p>	<p>利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。</p>	<p>金銭管理の支援方法          全面管理対応、施設で金銭預かり使用時に本人に渡す対応、家人の管理、自己管理等</p> <p>成年後見制度の利用支援及び利用者数          ・利用支援事例等(有) 無 )          ・有の場合の支援内容記載(利用者数 1名)</p>
<p>自立支援協議会からの助言・要望への対応について</p>	<p>利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)</p> <p>昨年度助言や要望があった場合の具体的な対応内容(初めて評価、報告を行う場合を除く)</p>	<p>利用者に配慮した支援、取組み内容          データ保護とセキュリティ対策:利用者の個人情報を適切に保護するために、情報の漏洩や不正アクセスを防ぐセキュリティ対策を実施します。データは適切な暗号化やアクセス制御を行い、利用者の同意なしに第三者と共有されることがないようにします。          明確な同意: 利用者の個人情報を収集する際には、その目的と利用方法を明確に説明し、利用者の同意を得ます。          透明性: プライバシーポリシーや利用規約を提供し、利用者が自分の情報がどのように扱われるかを理解できるようにします。          保管期間の遵守: 個人情報は必要な期間だけ保管し、不要な場合には適切に廃棄します。</p> <p>具体的な内容</p>
<p>その他</p>	<p>親の高齢化やその他の事情等による親御さんへの対応</p>	<p>(EX:免許返納や元々車を持っていない等で自宅に帰省を希望される方への対応等)</p> <p>経済的な負担: 障害を持つ子供のサポートには経済的な負担がかかることがあります。親が高齢化すると、収入が減少し、経済的な不安が増加する可能性があります。          高齢化した親が体力や社会的な活動の制限を受けることで、家族や地域社会との交流が減少し、孤立感が生じることがあります。</p>
	<p>抱えている課題</p>	<p>具体的な内容          マイナンバーカードの登録、障害者手帳の更新、自立支援医療の更新、収入申告、相続に関わる事等の事務手続きについて、施設が対応する事例が多くなってきた。理由としては家族の高齢化、死去等に伴い対応が難しくなっていると思われる。成年後見人制度の活用については親族の協力や本人の同意も必要な為、施設からの依頼もハードルが高い。</p>